

令和4年度 地域公共交通確保維持改善に関する自己評価
(及び地域公共交通計画の評価結果) 概要 (全体)

豊川市地域公共交通会議 (豊川市)

平成21年2月13日設置

令和3年3月30日 豊川市地域公共交通計画策定
(計画期間：令和3年4月～令和8年3月)

令和3年6月30日 フィーダー系統 確保維持計画策定等

令和5年1月11日 令和4年度評価結果送付

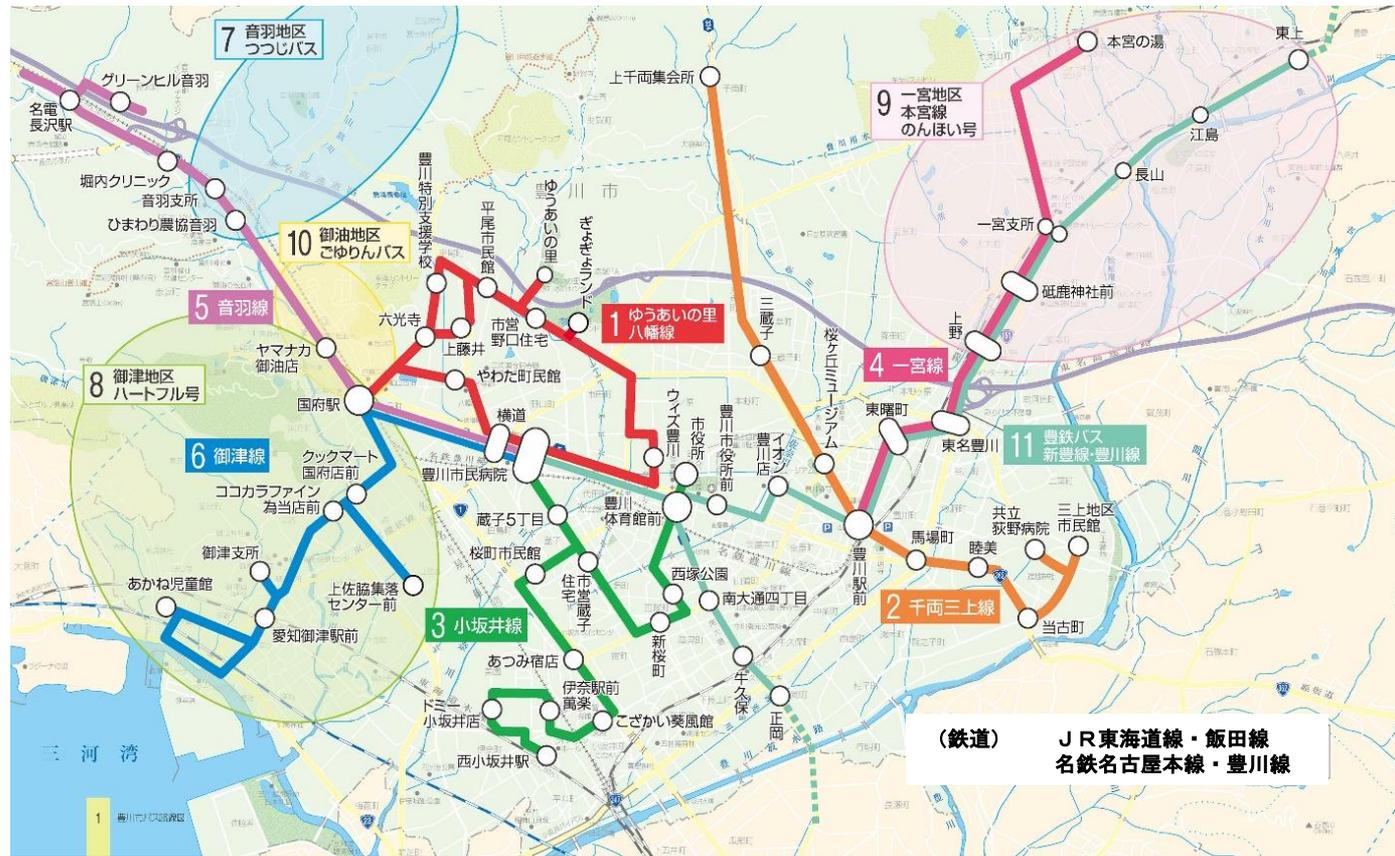
(1) 豊川市の概要

面積: 約160km²
 人口: 約18万人
 鉄道: 4路線19駅
 民間バス: 2路線5系統
 コミュニティバス: 10路線
 タクシー: 3社76両
 (福祉輸送限定除く)

(2) 基本方針

- ① 公共交通機関の役割分担による効率的かつ持続可能な公共交通網の構築
- ② わかりやすく多様な移動ニーズに対応した路線を移動量に応じたサービス水準で運行
- ③ 既存の形態・主体に捉われない移動手段の構築
- ④ 広域連携した利用促進の実施及びICT技術を活用した情報発信の強化

(豊川市) 鉄道・バス路線の概要図



(3) 路線の役割

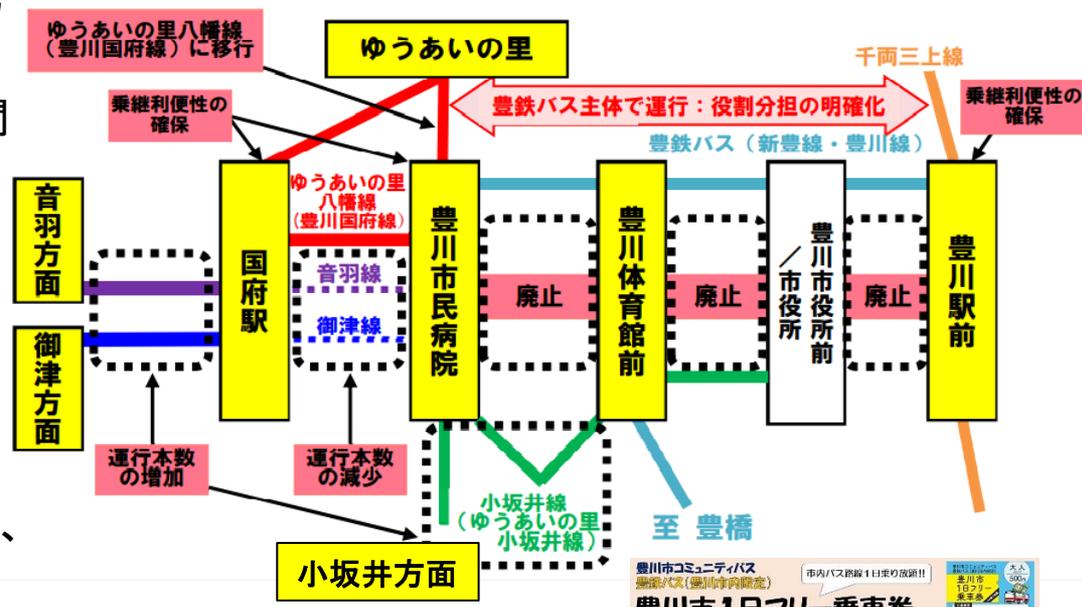
- ・ 地域間幹線系統補助対象路線
 市内外を結ぶ広域輸送を担う路線 (1 1 豊鉄バス新豊線・豊川線)
- ・ フィーダー系統補助対象路線
 鉄道、地域間幹線系統補助対象路線への接続や市内の拠点間輸送を担う路線 (1 ゆうあいの里八幡線・2 千両三上線・3 小坂井線・5 音羽線・6 御津線・9 本宮線のんほい号)

2. 【Do】 目標達成に向けた公共交通に関する主な具体的取組

(1) 市内バス路線再編(令和3年10月)

- ・基本方針①に基づき、地域間幹線系統とフィーダー系統の役割分担により運行を効率化(豊川市民病院東側区間における地域間幹線とフィーダー系統の並走解消)
- ・基本方針②に基づき、路線の短縮化により移動量の多い区間を増便。(豊川市民病院東側区間の運行廃止及び国府駅西側の区間の増便。姫街道北側区間の路線移行。)

(市内バス路線再編の概要図)



(2) 豊川市1日フリー乗車券の周知強化

- ・市内バス路線再編(令和3年10月)に伴い、市中心部へのバスでの移動は乗継ぎが必要になったため、乗継ぎ移動にお得な豊川市1日フリー乗車券の周知を強化したが販売枚数は横ばい。(約80枚/月)

(豊川市1日フリー乗車券周知チラシ)



(主要区間の運行本数変化)

路線名	主要区間	主要目的地	運行本数変化
小坂井線	小坂井方面⇔豊川市民病院	豊川市民病院	7便/日⇒11便/日
音羽線	音羽方面⇔国府駅 国府駅⇔豊川市民病院	ヤマナカ御油店(国府駅西側) 国府駅	11便/日⇒13便/日 5便/日⇒4便/日
御津線	御津方面⇔国府駅 国府駅⇔豊川市民病院	国府駅 豊川市民病院	14便/日⇒15便/日 12便/日⇒6便/日

2. 【Do】 目標達成に向けた公共交通に関する主な具体的取組

(市内バス路線再編前後の利用者数の変化)

路線名	令和4年度 R3. 10-R4. 9 利用者数①	令和3年度 R2. 10-R3. 9 利用者数②	増減人数 ①-②	増減率 (①-②)/②
ゆうあいの里八幡線 (豊川国府線)	9,037	6,781	2,256	33%
千両三上線	9,833	9,510	323	3%
小坂井線 (ゆうあいの里小坂井線)	5,746	7,980	-2,234	-28%
一宮線	12,358	12,431	-73	-1%
音羽線	8,071	10,004	-1,933	-19%
御津線	4,296	5,695	-1,399	-25%
音羽地区地域路線	8,949	9,160	-211	-2%
御津地区地域路線	2,268	2,818	-550	-20%
一宮地区地域路線	3,677	3,963	-286	-7%
御油地区地域路線	5,934	6,211	-277	-4%
コミュニティバス合計	70,169	74,553	-4,384	-6%
豊鉄バス新豊線	104,779	143,560	-38,781	-27%
豊鉄バス豊川線	180,391	198,013	-17,622	-9%
豊鉄バス合計	285,170	341,573	-56,403	-17%
市内バス路線合計	355,339	416,126	-60,787	-15%

路線移行（姫街道北側区間）に伴う利用者の移行

地域の病院・スーパーへのアクセス低下（ダイヤ）に伴う利用者減少

豊川市民病院へのアクセス低下（減便）に伴う利用者減少

小学校への通学利用者以外の利用者減少

定期外利用者（特に新豊線）の大幅減少

○結果の考察及び今後の展開

- ・小坂井線、音羽線、御津線、御津地区地域路線では、増便区間（主要区間）の利用者数増加＜減便区間（主要区間以外）の利用者数減少
- ・イオンモール開業に合わせ、豊川市民病院に接続している路線（ゆうあいの里八幡線、小坂井線、音羽線、御津線、豊鉄バス新豊線・豊川線）をイオンモールへ延伸・乗入れ。また、令和3年10月の路線再編で利用者数が減少した路線を改善。

(3) 西尾市「いこまいかー」の視察を実施

- ・基本方針③に基づき、既存の形態に捉われない移動手段として、西尾市「いこまいかー」(タクシー補助制度)の視察を実施。

(4) 広域連携した利用促進策の実施

- ・基本方針④に基づき、東三河地域公共交通活性化協議会で連携し、「夏休み小学生50円バス」や東三河地域内の鉄道やバスを利用する「バス整理券ラリー&徳川家康謎解きゲーム」を実施。
- ・田原市と連携し、バスに親しむイベント「夏休み路線バス探検キャラバン」を実施。

○結果の考察及び今後の展開

- ・タクシー補助制度はバスが運行していない地域の移動手段として有用。バスの運行継続が難しい地域での移動手段としても有用。
⇒タクシー補助制度の調査を継続。
- ・利用促進策を実施したが、新型コロナウイルス感染症の第7波の時期に重なった。
⇒期間限定の利用促進策は新型コロナウイルス感染症の波と重なる恐れがあるため、期間の長い利用促進イベントの実施も検討。

(夏休み路線バス探検キャラバン)



- (※) 東三河地域公共交通活性化協議会
東三河地域を運行する公共交通の利用促進や利便性向上に係る支援など、東三河地域の公共交通の活性化を図ることを目的として設立された東三河8市町村で構成される協議会。令和2年4月、夏休み小学生50円バス実行委員会を発展的に解消して発足。

3. 【Check】 計画の目標の達成状況とその理由についての考察

(1) 数値目標、実績及び達成状況

(目標の設定方法)

令和7年度(計画最終年度)の利用者数をコロナ禍前(令和元年度)実績に戻すように設定

(目標・実績期間)

コミュニティバス及び豊鉄バス利用者 令和3年10月～令和4年9月

コミュニティバス及び豊鉄バス利用者以外 令和3年 4月～令和4年3月

			(参考) コロナ禍前 令和元年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
			実績	(目標) 実績 R1度比 達成状況	(目標) 実績 R1度比 達成状況	(目標)	(目標)	(目標)
目標 1	公共交通 機関利用 者数	合計 (鉄道以外)	980,771人	(-) 700,582人 71.4%	(-) 652,051人 66.5%	(908,500人)	(-)	(980,000人)
		コミュニティ バス	101,604人	(87,000人) 74,522人 73.3% 未達	(90,000人) 70,169人 69.1% 未達	(93,500人)	(96,500人)	(100,000人)
		豊鉄バス 新豊線・豊川線	398,056人	(-) 341,573人 85.8%	(-) 285,170人 71.6%	(370,000人)	(-)	(400,000人)
		豊川市内 タクシー	481,111人	(-) 284,487人 59.1%	(-) 296,712人 61.7%	(445,000人)	(-)	(480,000人)
	主要な鉄道駅の 1日あたりの乗車人数		20,375人	(-) 15,621人 76.7%	(-) 16,665人 81.8%	(20,000人)	(-)	(20,000人)

3. 【Check】 計画の目標の達成状況とその理由についての考察

(1) 数値目標、実績及び達成状況

(目標の設定方法)

コミュニティバス年間収支率・・・令和元年度1人あたり運賃収入×利用者数目標/令和元年度運行経費(毎年+2%)

コミュニティバス行政負担額・・・令和元年度運行経費(毎年+2%)－令和元年度1人あたり運賃収入×利用者数目標

市民移動手段の公共交通分担率・・・平成25年度から平成30年度の分担率上昇と同程度の+0.3%

バス停・駅勢圏カバー率・・・令和3年10月の路線再編で低下したカバー率を令和5年度に戻し令和7年度までに+5%

目標	(参考) コロナ禍前 令和元年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	実績	(目標) 実績 R1度比 達成状況	(目標) 実績 R1度比 達成状況	(目標)	(目標)	(目標)
目標2 コミュニティバス 年間収支率	11.9%	(9.4%) 8.1% 68.1% 未達	(9.5%) 8.4% 70.6% 未達	(9.7%)	(9.8%)	(10.0%)
目標3 コミュニティバス 行政負担額	111,343千円	(117,777千円) 116,872千円 105.0% 達成	(119,956千円) 118,570千円 106.5% 達成	(122,116千円)	(124,400千円)	(126,667千円)
目標4 市民移動手段の 公共交通分担率	8.1%	(－) －	(－) －	(8.4%)	(－)	(－)
目標5 バス停・駅勢圏 カバー率	65.4%	(－) 62.7% 95.9%	(－) 62.7% 95.9%	(65%)	(－)	(70%)

3. 【Check】 計画の目標の達成状況とその理由についての考察

(1) 数値目標、実績及び達成状況(続き)

路線名	利用者数			収支率			行政負担額		
	目標(人)	実績(人)	達成状況	目標(%)	実績(%)	達成状況	目標(千円)	実績(千円)	達成状況
ゆうあいの里八幡線	10,000	9,037	未達	5.8	6.3	達成	18,101	18,507	未達
千両三上線	11,500	9,833	未達	14.2	12.4	未達	12,532	12,284	達成
小坂井線	10,500	5,746	未達	12.2	9.2	未達	11,734	11,923	未達
一宮線	14,000	12,358	未達	11.6	8.2	未達	9,643	9,353	達成
音羽線	11,000	8,071	未達	10.6	10.5	未達	12,595	12,287	達成
御津線	8,500	4,296	未達	7.3	5.8	未達	13,961	13,275	達成
音羽地区地域路線	9,000	8,949	未達	10.4	11.8	達成	12,315	11,609	達成
御津地区地域路線	3,000	2,268	未達	5.0	3.5	未達	9,573	9,720	未達
一宮地区地域路線	5,000	3,677	未達	9.4	6.8	未達	8,779	8,692	達成
御油地区地域路線	7,500	5,934	未達	9.6	8.7	未達	10,724	10,920	未達
合計	90,000	70,169	未達	9.5	8.4	未達	119,956	118,570	達成

(2) 目標の達成状況についての考察

- ・利用者数の達成状況は、合計では新型コロナウイルス感染症の影響により外出を控えたことが影響し、未達。路線別では、令和3年10月の市内バス路線の再編により、特に小坂井線、音羽線、御津線、御津地区地域路線で主要区間以外の区間の減便等の影響により目標未達。
- ・収支率の目標達成状況は、合計では未達。路線別では、令和3年10月の路線再編による小坂井線の姫街道北側区間の路線移行に伴い、姫街道北側区間の利用者がゆうあいの里八幡線を利用するようになったため、ゆうあいの里八幡線では達成。
- ・行政負担額の目標達成状況は、合計では令和3年10月の路線再編により路線全体の走行距離減少に伴う経費削減により達成。ゆうあいの里八幡線は走行距離が増加したため未達。

4. 【Act】 計画目標の達成に向けた今後の取組方針

【課題】

1. 令和3年10月の路線再編で、小坂井線、音羽線、御津線、御津地区地域路線では増便した主要区間の利用者数があまり増加していない。豊鉄バス新豊線・豊川線は減便や系統再編を実施していないものの定期外利用者が大幅減少。
2. 令和3年10月の路線再編で、市中心部への移動は豊鉄バス新豊線・豊川線への乗継ぎが必要になったため、運賃のお得な「豊川市1日フリー乗車券」の販売枚数の増加を見込んだが、販売枚数約80枚／月で横ばい。
3. 期間限定の利用促進策を実施したが、新型コロナウイルス感染症の第7波の時期と重なった。
4. タクシー利用者数の低迷(コロナ禍前比でバスは約7割に対し、タクシーは約6割)



【対応方針】

1. イオンモール豊川の開業に合わせ、ゆうあいの里八幡線、小坂井線、音羽線、御津線、豊鉄バス新豊線・豊川線のイオンモール豊川への延伸・乗入れを実施し、特に増便した主要区間の利用者数の増加を図る。また、利用者等の意見を反映した改善を実施。(音羽線…令和3年10月の路線再編前の類似ダイヤに改正し、地域の病院・スーパーへのアクセスを改善、御津線…豊川市民病院への直通便や乗継便を増便、御津地区地域路線…金野地区の増便や地域の病院への接続、豊鉄バス新豊線・豊川線…運行事業者及び沿線市と連携した一体的な系統再編)
2. 豊鉄バスとの乗継ぎ利用にお得な「豊川市1日フリー乗車券」のチラシを活用して普及を継続。
3. 東三河地域公共交通活性化協議会において、夏休み期間限定の利用促進策(50円バス、バス整理券ラリー、謎解きゲーム)だけでなく、実施期間の長い利用促進策についても検討。
4. タクシー補助制度の調査継続及び市内タクシー事業者とのタクシー補助制度についての意見交換等を実施。

年度	二次評価結果	事業評価結果の反映状況 (具体的対応内容)	今後の対応方針
前回	<p>令和3年10月の路線再編について、利用状況等を把握分析することで利用促進を図られるよう期待します。また、当該路線再編により、市中心部への移動で豊鉄バスへの乗継ぎが必要となったため、「豊川市1日フリー乗車券」等の普及に取組まれることを期待します。</p>	<p>「豊川市1日フリー乗車券」のお得な利用例を示したチラシを作成して普及に努めたが販売数量は横ばい(約80枚/月)。特に音羽線や御津線で利用者数が減少。利用者等から、音羽線は「地域の病院やスーパーへのアクセスが低下(ダイヤ原因)」、御津線は「豊川市民病院へのアクセスが低下(便数原因)」という意見が寄せられた。</p>	<p>「豊川市1日フリー乗車券」のお得な利用例を示したチラシ活用やバスの出前講座の実施により普及に努める。また、大規模商業施設開業に合わせたバス路線の見直しを実施し、音羽線は路線再編前の類似ダイヤに改正、御津線は豊川市民病院への直通便や乗継便を増便予定。</p>
	<p>令和5年春季の大規模商業施設開業において、地域住民・企業・交通事業者等の意見を集約し、地域活性化に資するよう取組まれることを期待します。また、開業直後の渋滞緩和についても他事例を参考に検討をお願いします。</p>	<p>関係者意見を集約し、豊川市民病院から大規模商業施設までバス路線の延伸について協議。長久手市や土岐市の事例を参考に開業直後の渋滞緩和について検討。</p>	<p>豊川市民病院から大規模商業施設までバス路線を延伸予定。開業直後、利用者への小銭準備の協力呼びかけ、イオンモール手前のバス停で降車した場合の徒歩所要時間の周知、バスロケーションシステムの周知等を実施予定。</p>

年度	二次評価結果	事業評価結果の反映状況 (具体的対応内容)	今後の対応方針
前回	地域間幹線系統のうち、特に豊川線については輸送量が補助要件を下回った結果となっているため、大規模商業施設開業に伴う新豊線と一体となった再編検討を進め、沿線市と連携して利用者回復に努められるよう期待します。	大規模商業施設開業を好機ととらえ、沿線市や事業者と連携し、新豊線・豊川線の一体的な再編を検討。	豊川市民病院から大規模商業施設まで延伸し、新豊線・豊川線の系統及びダイヤの一体的な再編を実施し、利用者回復を図る予定。
前々回	<p>令和3年4月に策定予定の地域公共交通計画に基づく事業及び評価の実施を期待します。</p> <p>幹線系統とコミュニティバスの並走解消等、令和3年10月に予定されている路線の見直しを行い、路線毎及び地域単位における、利用者数及び収支率の実績による評価・改善の実施を期待します。</p>	<p>地域公共交通計画に基づき令和3年10月の路線再編及び新しい目標に基づく評価を実施。</p> <p>令和3年10月の路線再編で幹線系統とコミュニティバスの並走解消等を実施。路線毎及び地域単位における利用者数、収支率、行政負担額の評価を実施。利用者数と収支率は目標を下回った。</p>	<p>大規模商業施設開業に合わせ、令和3年10月に路線再編したバス路線の見直しを予定。</p> <p>豊川市民病院から大規模商業施設までバス路線を延伸し、利用者数と収支率の目標達成を目指す予定。</p>

年度	二次評価結果	事業評価結果の反映状況 (具体的対応内容)	今後の対応方針
前々回	引き続き東三河地域が一体となった公共交通の利用促進を期待します。	東三河地域公共交通活性化協議会で夏休み小学生50円バスと東三河バス整理券ラリー&歴史謎解きゲームを実施。令和2年3月に豊鉄バスで導入したバスロケーションシステムを関係市とも連携して周知。	東三河地域公共交通活性化協議会で、夏休み小学生50円バス等の継続実施を検討予定。夏休み期間以外の新規イベントについて検討予定。

※前回：令和4年3月10日（中運交企第第174号）

前々回：令和3年3月1日（中運交企第156号）

13

6.計画・評価の推進体制

		第2次計画期間		第3次計画期間				第4次計画期間
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
実施事業のPDCAサイクル	Plan (計画)	事業計画	事業計画	事業計画	事業計画	事業計画	事業計画	事業計画
	Do (実施)		事業の実施	事業の実施	事業の実施	事業の実施	事業の実施	事業の実施
	Check (評価)		乗降調査 (OD調査)	乗降調査 (必要に応じ)	乗降調査 (OD調査)	乗降調査 (必要に応じ)	乗降調査 (OD調査)	乗降調査 (必要に応じ)
	Action (改善)		事業の評価 見直し・改善	事業の評価 見直し・改善	事業の評価 見直し・改善	事業の評価 見直し・改善	事業の評価 見直し・改善	事業の評価 見直し・改善
地域公共交通計画のPDCAサイクル	Plan (計画)	地域公共交通計画策定		必要に応じ改訂	必要に応じ改訂	必要に応じ改訂		次期地域公共交通計画策定
	Do (実施)		計画の実施	計画の実施	計画の実施	計画の実施	計画の実施	計画の実施
	Check (評価)			目標達成状況の評価	目標達成状況の評価	基幹路線の評価 地域路線の評価 計画の評価		
	Action (改善)			改善策検討	改善策検討		計画改訂の検討	

今回の評価

【公共交通会議の実施状況】

第52回会議	令和4年	3月25日	主な議題: コミュニティバス実績報告、令和4年度予算(案)協議
第53回会議	令和4年	6月17日	主な議題: イオンモール出店に伴う路線変更(素案)協議
第54回会議	令和4年	9月27日	主な議題: イオンモール出店に伴う路線変更(案)協議
第55回会議	令和4年	12月27日	主な議題: 地域公共交通確保維持改善事業等の評価、イオンモール出店に伴うダイヤ変更(案)協議

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年12月27日

協議会名:豊川市地域公共交通協議会

評価対象事業名:評価対象事業名:陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統)

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
豊川市コミュニティバス	基幹路線:6路線 地域路線:4路線	(前回の事業評価結果における期待する取組) ①令和3年10月路線再編後の利用状況等の把握・分析による利用促進及び市中心部への移動で豊鉄バスへの乗継ぎが必要となったことに伴う「豊川市1日フリー乗車券」等の普及。 ②令和5年春季の大規模商業施設開業について、地域住民・企業・交通事業者等の意見を集約することによる地域活性化及び他事例を参考にした開業直後の渋滞緩和の検討。 ③輸送量が補助要件を下回った地域間幹線系統(豊川線)について、大規模商業施設開業に伴う新豊線と一体となった再編検討及び沿線市と連携した利用者回復。	A 計画どおり実施	<p>利用者数目標:90,000人/年(R3.10~R4.9) 利用者数実績:70,169人/年(R3.10~R4.9) 達成状況:未達</p> <p>収支率目標:9.5%(R3.4~R4.3) 収支率実績:8.4%(R3.4~R4.3) 達成状況:未達</p> <p>行政負担額目標:119,956千円(R3.4~R4.3) 行政負担額実績:118,570千円(R3.4~R4.3) 達成状況:達成</p> <p>・市内の交通結節点と主要施設を結び、行政や交通事業者が主体となって確保する基幹路線と、小中学校区程度の地域内を運行し、地域が主体となって確保する地域路線で構成。令和3年10月の路線再編により、豊川市民病院から東側の区間のコミュニティバスの運行を廃止し、豊鉄バスとの並走を解消して運行を効率化。 ・令和3年10月の路線再編により、特に音羽線は地域の病院やスーパーへのアクセスが低下するダイヤ、御津線は豊川市民病院へのアクセスが減便となったこともあり利用者数目標は未達。また、市中心部への移動は豊川市民病院で豊鉄バスへの乗継ぎが必要になったため、豊鉄バスとの乗継ぎ利用にお得な「豊川市1日フリー乗車券」のチラシを作成して周知に努めたが、「豊川市1日フリー乗車券」の販売枚数(約80枚/月)は横ばい。利用者目標及び収支率目標は未達。路線再編により、路線全体の走行距離が減少したため行政負担額目標は達成。 ・令和4年7月から令和4年9月にかけて東三河地域公共交通活性化協議会で東三河バス整理券ラリー&徳川家康謎解きゲームを実施するなどの利用促進を実施。</p>	<p>・令和5年3月のイオンモール豊川の開業に合わせ、豊川市民病院に接続しているバス路線についてイオンモール豊川への延伸・乗入れを実施。また、特に音羽線は令和3年10月の路線再編前の類似ダイヤに改正し、御津線は豊川市民病院への直通便や乗継便を増便するなどの改善を実施し、利用者数の増加を図る。 ・豊鉄バスへの乗継ぎ利用にお得な「豊川市1日フリー乗車券」のチラシを活用して普及を継続。 ・夏休み期間に限った利用促進策(50円バス、バス整理券ラリー、謎解きゲーム)だけでなく、実施期間の長い新たな利用促進策についても検討、実施。</p>
ゆうあいの里八幡線(基幹路線) 【豊鉄バス】	ゆうあいの里~ゆうあいの里 ゆうあいの里~豊川市民病院		A 計画どおり実施	<p>年間利用者目標:10,000人/年(R3.10~R4.9) 年間利用者実績:9,037人/年(R3.10~R4.9) 達成状況:未達</p> <p>収支率目標:5.8%(R3.4~R4.3) 収支率実績:6.3%(R3.4~R4.3) 達成状況:達成</p> <p>行政負担額目標:18,101千円(R3.4~R4.3) 行政負担額実績:18,507千円(R3.4~R4.3) 達成状況:未達</p> <p>・主に豊川特別支援学校への通学や豊川市民病院等への通院に利用されている路線。令和3年10月に、豊川国府線とゆうあいの里小坂井線を一体的に再編し、豊川体育館前西から豊川駅前間のルートを廃止し、ゆうあいの里小坂井線から県道5号線(姫街道)以北のルートを豊川国府線に移管。豊川国府線をゆうあいの里八幡線に名称変更。 ・再編により、旧ゆうあいの里小坂井線の県道5号線(姫街道)以北の利用者の多くがゆうあいの里八幡線を利用するようになったものの、利用者目標は未達。収支率目標は達成。路線再編により走行距離が長くなったことにより行政負担額目標は未達。</p>	<p>令和5年3月のイオンモール豊川の開業に合わせ、イオンモール豊川への延伸・乗入れを実施することで利用者数の増加を図る。国府駅や豊川市民病院における乗継利便性の高いダイヤを設定。また、豊鉄バスとの乗継ぎ利用にお得な「豊川市1日フリー乗車券」のチラシを活用して普及を継続。</p>
千両三上線(基幹路線) 【豊鉄タクシー】	上千両集会所~三上地区市民館 上千両集会所~豊川駅前		A 計画どおり実施	<p>年間利用者目標:11,500人/年(R3.10~R4.9) 年間利用者実績:9,833人/年(R3.10~R4.9) 達成状況:未達</p> <p>収支率目標:14.2%(R3.4~R4.3) 収支率実績:12.4%(R3.4~R4.3) 達成状況:未達</p> <p>行政負担額目標:12,532千円(R3.4~R4.3) 行政負担額実績:12,284千円(R3.4~R4.3) 達成状況:達成</p> <p>・主に鉄道へ乗り継いで通院や買い物に利用されている路線 ・令和4年7月から令和4年9月にかけて東三河地域公共交通活性化協議会で東三河バス整理券ラリー&徳川家康謎解きゲームを実施するなどの利用促進を図ったものの、新型コロナウイルス感染症の影響により利用者目標及び収支率目標は未達。路線再編を実施しなかった路線であり、走行距離の増加がなかったため経費の増加を見込んで設定した行政負担額目標については達成。</p>	<p>・市中心部への移動は豊鉄バスへの乗継ぎが必要のため、「豊川市1日フリー乗車券」の周知を強化。 ・イオンモール豊川の開業に合わせて豊鉄バスで延伸・乗入れを実施予定のため、豊鉄バスとの乗継ぎについて周知を強化し、新規利用者を獲得。</p>

小坂井線(基幹路線) 【豊鉄タクシー】	市役所～西小坂井駅 豊川市民病院～西小坂井駅		A 計画どおり実施	年間利用者目標: 10,500人/年 (R3.10～R4.9) 年間利用者実績: 5,746人/年 (R3.10～R4.9) 達成状況: 未達	収支率目標: 12.2% (R3.4～R4.3) 収支率実績: 9.2%(R3.4～R4.3) 達成状況: 未達	行政負担額目標: 11,734千円 (R3.4～R4.3) 行政負担額実績: 11,923千円 (R3.4～R4.3) 達成状況: 未達	・イオンモール豊川の開業に合わせてイオンモール豊川へ延伸・乗入れを実施することで新規利用者を獲得。
音羽線(基幹路線) 【豊鉄タクシー】	グリーンヒル音羽～豊川市民病院	(事業の実施状況) ①路線再編後、特に音羽地区・御津地区から市中心部までの利用者数が減少。「豊川市1日フリー乗車券」のお得な利用例を示したチラシを作成して普及に努めたが、乗継ぎ利用は減少。大規模商業施設開業に合わせたバス路線の見直しを実施し、音羽線・御津線については午前中の市中心部(豊川市民病院)への直通便や乗継便を増便予定。	A 計画どおり実施	年間利用者目標: 11,000人/年 (R3.10～R4.9) 年間利用者実績: 8,071人/年 (R3.10～R4.9) 達成状況: 未達	収支率目標: 10.6% (R3.4～R4.3) 収支率実績: 10.5% (R3.4～R4.3) 達成状況: 未達	行政負担額目標: 12,595千円 (R3.4～R4.3) 行政負担額実績: 12,287千円 (R3.4～R4.3) 達成状況: 達成	・市中心部への移動は豊鉄バスへの乗継ぎが必要なため、「豊川市1日フリー乗車券」の周知を強化。 ・イオンモール豊川の開業に合わせて路線やダイヤを見直し、音羽線は令和3年10月の路線再編前に類似のダイヤに改正、御津線は午前中の豊川市民病院までの直通便や国府駅での乗継便の増便。 ・イオンモール豊川の開業に合わせて豊鉄バスで延伸・乗入れを実施予定のため、豊鉄バスとの乗継ぎについて周知を強化し、新規利用者を獲得。
御津線(基幹路線) 【豊鉄タクシー】	あかね児童館～豊川市民病院	②関係者意見を集約し、豊川市民病院から大規模商業施設までバス路線の延伸について協議。長久手市や土岐市の事例を参考に開業直後の渋滞緩和について検討。開業直後、利用者への小銭準備の協力呼びかけ等を実施予定。	A 計画どおり実施	年間利用者目標: 8,500人/年 (R3.10～R4.9) 年間利用者実績: 4,296人/年 (R3.10～R4.9) 達成状況: 未達	収支率目標: 7.3%(R3.4～R4.3) 収支率実績: 5.8%(R3.4～R4.3) 達成状況: 未達	行政負担額目標: 13,961千円 (R3.4～R4.3) 行政負担額実績: 13,275千円 (R3.4～R4.3) 達成状況: 達成	

一宮地区地域路線 〈東回り〉(地域路線) 【豊鉄タクシー】	いかまい館～いかまい館			年間利用者目標: 5,000人/年 (R3.10～R4.9) 年間利用者実績: 3,677人/年 (R3.10～R4.9) 達成状況: 未達	収支率目標: 9.4%(R3.4 ～R4.3) 収支率実績: 6.8%(R3.4 ～R4.3) 達成状況: 未達	行政負担額目標: 8,779千円(R3.4 ～R4.3) 行政負担額実績: 8,692千円(R3.4 ～R4.3) 達成状況: 達成	
一宮地区地域路線 〈中回り〉(地域路線) 【豊鉄タクシー】	いかまい館～いかまい館	③大規模商業施設開業を好機ととらえ、沿線市や事業者と連携し、新豊線・豊川線の一体的な再編を検討。豊川市民病院から大規模商業施設までバス路線を延伸し、利用者数と収支率の目標達成を目指す予定。	A 計画どおり実施	B ・主にかまい館のお風呂目的で利用されている路線。 ・令和4年7月から令和4年9月にかけて東三河地域公共交通活性化協議会で東三河バス整理券ラリー&徳川家康謎解きゲームを実施するなどの利用促進を図ったものの、新型コロナウイルス感染症の影響により利用者目標及び収支率目標は未達。路線再編により走行距離が減少したため行政負担額目標は達成。			・令和4年10月に実施したOD調査結果や利用実績に基づき、一宮地域公共交通運営協議会とも連携して利便性向上に努める。
一宮地区地域路線 〈西回り〉(地域路線) 【豊鉄タクシー】	いかまい館～いかまい館						

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和4年12月27日

協議会名:	豊川市地域公共交通会議
評価対象事業名:	陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統)
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>豊川市地域公共交通計画に則り、より良い交通ネットワークを構築するため、以下の将来像と基本方針に基づき事業を実施。</p> <p>[将来像] 様々手段と主体が連携した持続的な交通ネットワークが充実し、住みよく、移動しやすいまち、豊川市</p> <p>[基本方針] 方針1:各公共交通が連携し、それぞれの役割に応じた、効率的かつ持続可能な公共交通網の構築 方針2:わかりやすく、多様な移動ニーズに対応した地域の実情に合った路線で、それぞれの移動量に応じたサービスで運行 方針3:様々な視点からの路線構築及び既存の形態・主体に捉われない移動手段の構築並びに市民行動の明確化 方針4:広域連携での利用促進の取組み及びICT技術を活用した情報発信</p>